

【16-1】

被害状況報告書（速報・確定報告）

東かがわ市 第 報

災害の原因

災害の発生日 年 月 日

災害発生場所（地域）

年 月 日 時 分 現在

発信時刻

発信機関

発信者

受信時刻

受信機関

受信者

区分	種類	番号	件数	被害金額	摘要	
人的被害	死者	1	人	単位：千円		
	行方不明者	2	人			
	負傷者	重傷	3			人
		軽傷	4			人
住家被害	全壊 (流・埋没)	5	棟			
		6	世帯			
		7	人			
	半壊 (流・埋没)	8	棟			
		9	世帯			
		10	人			
	一部破損	11	棟			
		12	世帯			
		13	人			
	床上浸水	14	棟			
		15	世帯			
		16	人			
	床下浸水	17	棟			
		18	世帯			
		19	人			
り災世帯数		20	世帯			
り災者数		21	人			
非住家	公共建物	22	棟			
	その他	23	棟			

区 分	種 類	番 号	件 数	被害金額	摘 要
耕 地	田	流・埋	24	ha	
		沈・亀	25	ha	
	畑	流・埋	26	ha	
		沈・亀	27	ha	
農畜林産	農作物	28	ha(トン)		
	家畜(家きん)	29	頭(羽)		
	林産物	30	ha(トン)		
船 船 (漁 船)	沈 没	31	隻		
	流 出	32	隻		
	破 損	33	隻		
	分解等による船	34	隻		
水 産	漁 具	35	流		
	水 産 物	36			
施 設	文 教 施 設	37	箇所		
	病 院	38	箇所		
	道 路	39	箇所		
	橋 梁	40	箇所		
	河 川	41	箇所		
	砂 防	42	箇所		
	海 岸	43	箇所		
	港 湾	44	箇所		
	漁 港	45	箇所		
	農 業 施 設	46	箇所		
	林 業 施 設	47	箇所		
	水 産 施 設	48	箇所		
	商 工 施 設	49	箇所		
	清 掃 施 設	50	箇所		
	51	箇所			
そ の 他	崖 崩 れ	52	箇所		
	鉄 道 不 通	53	箇所		
	水 道	54	戸		
	電 話	55	回線		
	電 気	56	戸		

区 分	種 類	番号	件 数	被害金額	摘 要
	ガ ス	57	戸		
	ブロック塀等	58	箇所		
		59			
火災発生	建 物	60	件		
	危 険 物	61	件		
	そ の 他	62	件		
被 害 総 額		63		千円	
今 後 の 見 通 し 等					
市災害対策本部設置日時					
災害救助法発動要請日時					
避 難 状 況					
応急活動及び救助活動状況					
応援機関等の出動状況			消防(水防)団員数	人	
			その他応援者数	人	
備 考			消防職員出動延人数	人	
			消防団員出動延人数	人	

【16-2】

救助実施記録日計票

救助の種類	避、炊、水、救出、修理、学、死捜、死処、障		
東かがわ市			
責任者	班	氏名	印
(自治会責任者	氏名		印)
No.	(	月 日 時 分)	
員 数 ( 世 帯 )			
品 目 ( 数 量 金 額 )			
受 入 先			
払 出 先			
場 所			
方 法			
記 事			

救助実施記録日計票記入要領

- 1 各救助の種類ごとに一葉作成する。
- 2 記録票欄外のナンバー欄には、記録票作成ごとに一連番号を附し、前回分を訂正する必要がある場合、例えば、No.10の次にNo.5の分を訂正する場合には、No.11 (No.5訂正) のように記載のうえ、前回分No.5の記録票には朱で×印を附し (No.11に訂正済)、棄却することなく、そのままナンバー順に綴っておく。なお、救助の実施種類が多い場合には、救助の種類ごとに一連番号を附し、ナンバー順に綴ってよい。
- 3 記録票欄外の救助の種類別欄の該当の救助名を○でかこみ、欄内該当欄に必要最少限度の事項を記入する。
- 4 機械、器具等は無償で借上げた場合についても、記録票を作成する。
- 5 災害救助基金より放出した場合についても、同様とする。
- 6 被服、寝具その他生活必需品の給与等で、都道府県調達分と市調達分の双方があるときは、それぞれ別個に記録票を作成する。

【16-3】

### 被災者台帳

				住屋	自家借家	全壊 全焼 流失 半壊 半焼 床(上・下) 浸水				
世帯主	住所	東かがわ市		番地	方	非住家	自家借家	全壊 全焼 流失 半壊 半焼 床(上・下) 浸水		
	氏名		世帯人員			人的被害		死亡	人、重傷	人、軽傷
被災年月日		年 月 日			被災場所					
被災者										
	氏名	年齢	続柄	性別	職業	勤務先又は 学校名(学年)	死亡	負傷名 (重、軽傷別)	備考	
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
計										
備考										

【16-4】

〒	証明番号	

被災証明書

住所	
申請者	

被災年月日 被災の原因	の による
被災住所	
被災内容	
備考	

上記のとおり相違ないことを証明します。

(注意事項)

- ・この証明は、市長が確認できる範囲において、被災した事実を証明するものです。  
(被害の程度を証明するものではありません)
- ・この証明は、民事上の権利義務関係に効力を有するものではありません。

【16-5】

〒	証明番号	

り災証明書

住所	
申請者	

り災年月日 り災の原因	の による
り災住家 の所在地	
被害の程度	
備考	

上記のとおり相違ないことを証明します。

(注意事項)

- ・この証明は、災害救助の一環として、応急的、一時的な救済を目的に、自治体が確認できる程度の住家被害について証明するものです。
- ・この証明は、民事上の権利義務関係に効力を有するものではありません。
- ・この証明は、原則として、一世帯に一枚の発行となりますので、大切に保管してください。
- ・被害の程度の判定結果に不服がある場合は、証明の交付を受けた窓口に申し出てください。





- 3 他市町の住民を収容したときは、その住所、氏名及び収容期間を「備考」欄に記入すること。

## 【16-7】

## 救助の種目別物資受払状況

東かがわ市

救助の種目別	年月日	品名	呼称単位	摘要	受	払	残	備考
避難所用								
炊出しその他による食品給与用								
給水用機械器具燃料 浄水用薬品資材								
被服、寝具等								
医薬品、衛生材料								
被災者救出用 機械器具燃料								
燃料及び消耗品								

- (注) 1 「摘要」欄に、受入先及び払出先を記入すること。
- 2 「備考」欄に、購入単価及び購入金額を記入すること。
- 3 各救助の種目別最終行欄に、受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにすること。なお、物資等において、都道府県よりの受入分及び市調達分がある場合にはそれぞれの別に受、払、残の計及びそれぞれの金額を明らかにすること。
- 4 救護班による場合には、救護班ごとに救護業務従事期間中における品目ごとの使用状況を記入すること。なお、「備考」欄に、払高数量（使用数量）に対する金額を記入すること。

【16-8】

被災者救出状況記録簿

東かがわ市

年月日	救出人員	救出用機械器具								実支出額	備考
		名称	借上費			修繕費			燃料費		
			数量	所有者 (管理者) 氏名	金額	修繕 月日	修繕費	修繕の 概要			
計											

- (注) 1 他市町に及んだ場合には、備考欄にその市町名を記入すること。  
 2 借上費については、有償無償を問わず記入し、有償による場合にのみ、その借上費を「金額」欄に記入すること。  
 3 「修繕の概要」欄には、故障の原因及び主な故障箇所を記入すること。

【16-9】

死 体 処 理 台 帳

東かがわ市

処 理 年月日	死体発 見の日 時及び 場 所	死亡者 氏 名	遺 族		洗 浄 等 の 処 理			死体の 一時保 存料	検 案 料	実 支 出 額	備 考
			氏 名	死亡者 との関 係	品名	数量	金額				
							円	円	円	円	
計		人									

【16-10】

## 埋 葬 台 帳

東かがわ市

死 亡 年月日	埋 葬 年月日	死亡者		埋葬を行った者		埋 葬 費				備 考
		氏 名	年 齢	死亡者 との関 係	氏 名	棺 (附属品を 含む。)	埋葬ま たは火 葬料	骨箱	計	
						円	円	円	円	
計		人								

- (注) 1 埋葬を行った者が市長であるときは、遺族の氏名を「備考」欄に記入すること。  
 2 市長が、棺、骨箱等を現物で給与したときは、その旨「備考」欄に明らかにすること。  
 3 埋葬を行った者に埋葬費を支給したときは、その旨及び金額を「備考」欄に記入すること。

【16-11】

障害物除去の状況

東かがわ市

住家被害程度区分		氏名	除去に要した 期間	実支出額	除去に要すべ き状態の概要	備考
			月 日～月 日	円		
計	半壊（焼）	世帯				
	床上浸水	世帯				

【16-12】

炊出し給与状況

東かがわ市

炊出し場の名称	月 日			月 日			5日間小計			6日以降小計			合計	支出額	備考
	朝	昼	夕	朝	昼	夕	朝	昼	夕	朝	昼	夕			
														円	
計															

(注) 「備考」欄には、給食内容を記入すること。

【16-13】

食糧現品給与簿

東かがわ市

給与年月日	給与人数	食数	給与物貧内訳				受領者				備考	
			米	パン	かん詰		住所	世帯主氏名	家族数	受領印		避難先市町村
									人			



冊													
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

【16-14】

炊出し用物品借用簿

東かがわ市

品名	数量	期間	金額	所有者 (管理者)氏名	使用避難所の名称	備考
			円			

(注) 「期間」欄は、「〇月〇日から〇月〇日までの〇日間」と記入すること。

【16-15】

飲料水の供給簿

東かがわ市

供給 月日	対象 人員	給水用機械器具								実支 出額	備考
		名称	借上			修繕			燃料費		
			数量	所有者	金額	修繕 月日	修繕費	故障の概要			
計											

(注) 1 給水用機械、器具は、借上費の有償、無償の別を問わず作成するものとし、有償による場合のみ、「金額」欄に額を記入すること。

2 「故障の概要」欄には、修理の原因及び主な修理箇所を記入すること。

【16-16】

物資購入（配分）計画表

東かがわ市

世帯区分	1人世帯				2人世帯				3人世帯				計			
	(基準額) 円				(基準額) 円				(基準額) 円				円			
単品名	数量	世帯数	所要額	金額	数量	世帯数	所要額	金額	数量	世帯数	所要額	金額	数量	世帯数	所要額	金額
計																

- (注) 1 本表は、全壊（焼）、流し世帯分と半壊（焼）、床上浸水世帯分に分けて作成すること。  
 2 「品名」欄は、寝具、被服、生活必需品の順に記入すること。  
 3 各品目ごとの「備考」欄に、都道府県調達分と市町村調達分を明らかにすること。

【16-17】

物資の給与状況

東かがわ市

住家被害程度区分	世帯主氏名	基礎となった世帯構成人員	給与月日	物資給与の品名						支出額	備考
				布団	毛布	作業衣		なべ			
		人	月 日							円	
計	全壊	世帯									
	半壊	世帯									

災害救助物資として上記のとおり給与したことに相違ありません。

年 月 日

給与責任者

氏 名

印

- (注) 1 住家の被害程度に、全壊（焼）、流し又は半壊（焼）、床上浸水の別を記入すること。  
 2 受領年月日に、その世帯に対して最後に給与された物資の受領年月日を記入すること。

- 3 「物資給与の品名」欄に、数量を記入すること。

【16-18】

救護班活動状況

保健班

班長：医師 氏名

月日	市町村名	患者数	措置の概要	死体検索数	修繕費	備考
		人		人	円	
計						

【16-19】

病院診療所医療実施状況

東かがわ市

診療機関名	患者氏名	診療期間 月 日	病 名	診療区分		診療報酬点数		金 額 円	備考
				入院	通院	入院	通院		
						点	点		
計 機関	人								

(注)「診療区分」欄は、該当欄に○印を記入すること。

【16-20】

助産台帳

東かがわ市

分娩者氏名	分娩日時	助産期間名	分娩期間	金額	備考
			月日～月日	円	
計					





【16-22】

応急仮設住宅台帳

東かがわ市

応急仮設 住宅番号	世帯主 氏名	家族数	所在地	構造 区分	面積	敷地 区分	着工 月日	竣工 月日	入居 月日	実支出額	備考
		人					月日	月日	月日	円	
計	世帯										

(注) 1 「応急仮設住宅番号」欄は、応急仮設住宅に付した番号とし、設置ヶ所を明らかにした簡単な図面を作成し、添付すること。

2 「家族数」欄は、入居時における世帯主を含めての人員数を記入すること。

3 「所在地」欄は、応急仮設住宅を建設したところの住所を記入すること。

4 「構造区分」欄は、木造住宅、プレハブ住宅、パルプ式組立住宅の別を記入すること。

5 「敷地区分」欄は、公私有別とし、有無償の別をも明らかにすること。

6 「備考」欄には、入居後における経過を明らかにしておくこと。

【16-23】

住宅応急修理記録簿

東かがわ市

世帯主氏名	修理箇所概要	完了月日	実支出額	備考
		月 日	円	
計 世帯				

【16-24】

臨時雇上賃金職員勤務状況表

東かがわ市

住 所	氏 名	年 齢	単 価	月 分			基 本 賃 金		割 増 賃 金		計	備 考
				日	日	日 数	日 数	金 額	時 間	金 額		
			円					円		円		
計	人			人	人							

上記のとおり勤務したことを証明する。

年 月 日

東かがわ市総務課長

印

- (注) 1 救助種目ごとに別冊又は別頁とすること。  
 2 時間外勤務に従事させた場合は、その時間数を日別欄に記入しておくこと。  
 3 必要に応じ「賃金受領」欄を設けて差し支えないこと。

4 適当な箇所に勤務証明の奥書をしておくこと。

派遣要請書

年 月 日

香川県知事

殿

東かがわ市長

自衛隊に対する災害派遣要請について（申出）

このことについて、次のとおり自衛隊の派遣方をお願いします。

記

1 災害の情况及び派遣を要請する事由

2 派遣を希望する期間

年 月 日 時から  
年 月 日 災害が終了するまで

3 派遣を希望する区域及び活動内容

(1) 派遣を希望する区域

(2) 活動内容

4 その他参考となるべき事項

(1) 宿 舎

(2) 食 糧

(3) 資 料

【16-26】

撤 収 要 請 書

年 月 日

香川県知事 殿

東かがわ市長

災害派遣部隊の撤収について（報告）

さきに申し出た〇〇による部隊等の〇〇作業については、その目的を達したので、次  
の通り派遣部隊等の撤収についてよろしくお願いします。

記

撤収年月日 年 月 日 時

【16-27】

輸 送 記 録 簿

東かがわ市

輸送 月日	目的	輸送 区間 距離	借 上 等			修 繕				燃料 費	実支 出額	備考	
			使用車両等		金額	故障車両等		修繕 月日	修繕費				故障 の 概要
			種類	台数		名称 番号	所有 者名						
					円				円	円			
計													

- (注) 1 「目的」欄には、主たる目的（又は救助の種類名）を記入すること。  
 2 都道府県又は市町の車両等による場合は、「備考」欄に車両番号を記入すること。  
 3 借上げ車両等による場合は、有償、無償を問わず記入すること。  
 4 借上げ等の「金額」欄には、運送費又は車両等の借上げ費を記入すること。  
 5 「故障の概要」欄には、故障の原因及び故障箇所を記入すること。



【16-28】

学用品購入(配分)計画表

東かがわ市

品名	単価	小 学 生			中 学 生			合 計		備 考				
		全壊流失分		半 壊	全壊流失分		半 壊	合 計						
				床上浸水分			床上浸水分							
		児 童 数	数 量	金 額	児 童 数	数 量	金 額	生 徒 数	数 量		金 額	生 徒 数	数 量	金 額
	円			円			円			円			円	
計														

- (注) 1 本表は、学用品のうち文房具及び通学用品のみとし、教科書(教材を含む)については、別途適宜作成するものであること。  
 2 都道府県調達分があるときは、その旨を各品目ごとの「備考」欄に明らかにしておくこと。

【16-29】

学用品の給与状況

東かがわ市

学校名	学年	児童 (生徒) 氏名	親権者 氏名	給与 月日	給与品の内訳						実支 出額	備考
					教科書			その他学用品				
					国語	算数		鉛筆	ノト			
				月日							円	
計	小学校	人									円	
	中学校	人									円	

学用品を上記のとおり給与したことに相違なし。

年 月 日

給与責任者（学校長）

氏 名

印

(注) 1 「給与月日」欄には、その児童（生徒）に対して最後に給与した給与月日を記入すること。

2 「給与品の内訳」欄には、数量を記入すること。

本計画では、障害のある人を表すときには、「障がい者」と表記しています。

この表記は本市が平成17年度に作成した「人権教育・啓発に関する基本計画」に準じて表記しています。

ただし、「障害」という語句は漢字のまま使用し、法律及び条令等に使用されている「障害者」という用語は、そのまま使用しています。